



所在地 〒540-0006 大阪市中央区法円坂2丁目1-14
大阪医療センター臨床研究センター棟6階
独立行政法人 国立病院機構 近畿グループ 採用担当

Tel 06-4790-8388 (代表)

HP <https://kinki.hosp.go.jp/>

近畿グループHP・SNSでは最新の採用情報を更新していますので、是非ご覧ください。



ともにきらめき、 染めていけ

独立行政法人 国立病院機構 近畿グループ
メディカルスタッフ募集案内

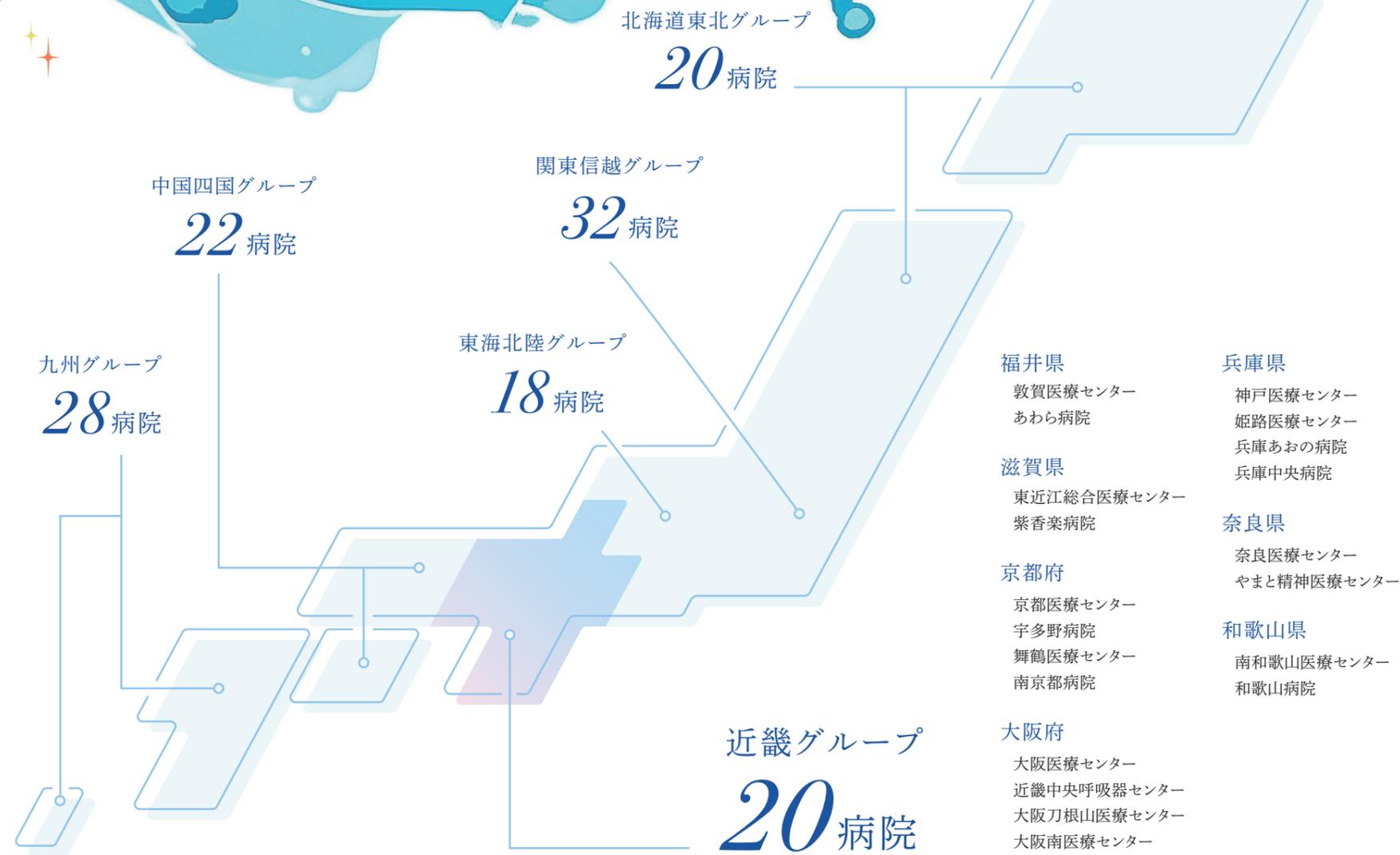
ともにきらめき、 染めていけ

最初は、みんな真っ白だ

国立病院機構には、
多様な色を持つ人たちがいる
たくさんの色を吸収しよう、
新たな色を作り出そう
そして、真っ白なキャンバスをジブン色に染めよう

ここには、たくさんのチャンスがある。
全国には、キミを後押ししてくれる多くの仲間がいる。

私たち『ともにきらめき、染めていけ』



国内最大規模の医療ネットワーク



政策医療を担う 国立病院機構の取り組み





診療放射線技師

Radiological technologist



臨床検査技師

Medical technologist



求められている、 女性の診療放射線技師

近畿中央呼吸器センター
R.H (2023年入職)

診療放射線技師を目指そうと決めたのは高校2年生のとき。乳がん検診後、母がもらった「同性の技師さんだったらな」との一言がきっかけです。現在、女性の患者さんから「女性の技師さんで良かったわ」と聞くことも多く、この道を選んで良かったと思います。またNHOの“イチオンポイント”は、グループ内で他職種との交流ができる点。入職1年目で参加させてもらった3泊4日の淡路島研修は意見交換も盛んで、かけがえのない経験ができました。



他の病院との違いを、 積極的に学べる体制が魅力

大阪医療センター
T.T (2013年入職)

NHOの一番の魅力は、グループ内の他の施設に実習に行きやすいことだと思います。興味あるモダリティを実際に見て確認し、自施設との違いを学べる体制が整っています。現在、私の業務はマンモグラフィを主とした一般撮影およびアイトープがメイン。新しい機械を先行で運用している病院があれば、見学し、そちらが良ければ取り入れることも。これは横のつながりだけでも数百人規模、踏み込んだことまで聞ける組織内の関係性があればこそ、ですね。



最新医療を支える 裏方としての達成感

京都医療センター
N.M (2008年入職)

当院はNHOでもまだ施設しか設置されていない「ハイブリッド手術室」があります。それに伴い、2022年から大動脈弁狭窄症の治療「TAVI」を開始、診療放射線技師もハートチームの一員として従事しています。血管撮影において我々は裏方ですが、ときにはドクターと相談しながら、望む結果が出せたときの達成感は格別です。3次救急も受け入れており、非常に忙しい職場なのは確かですが、放射線技師としての経験値は確実に上がると思います。



現場を経て“繋ぎ役”。 スタッフの成長もうれしい

大阪医療センター
Y.D (2004年入職)

現在、副臨床検査技師長としてスタッフの勤務管理や、病院運営に必要な資料作成などをメインに担当しています。もともとは超音波検査が得意で、これまで3つの病院で約20年近く現場に携わってきました。2024年、現職に就いた当初はとまどいもありましたが、現場を熟知したうえでスタッフの相談を受けられることが私の強みだと気づきました。また後輩の指導で、彼らの力があがる様子を目の当たりにできるので、やりがいを実感しています。



「ちゃんと見てるよ」 —そう言える主任に

大阪医療センター
C.M (2006年入職)

「生理機能検査室」は、数ある臨床検査技師の行き先のうち最も、患者さんと接する機会が多いのが特徴です。14人のスタッフが所属する部屋の主任として心がけているのは、皆と偏りなくコミュニケーションを取ること。以前、先輩からかけてもらった「頑張っていたら、誰かがちゃんと見てるよ」との言葉が印象的で、支えになったから。あの気持ちを忘れず、今度は私が患者さん、スタッフをちゃんと見て関わっていきたくと思っています。



尊敬できる先輩と次々に 出会える、最高の環境

大阪医療センター
T.N (2023年入職)

NHOは扱う症例数が圧倒的に多く、最新の医療に携われるはず。そう思って就職を決めました。実際ここには、多くの経験を積み、高いスキルを身につけた尊敬できる先輩技師がたくさんおられるので、技師として、人として成長できる最高の環境だと思います。グループ内での異動があることも、さらに多くの技師の方々と出会えるチャンスです。自分の力を試したい!スキルアップしたい!それならぜひ、NHOへの就職を考えてみてください。



管理栄養士

Registered dietitian



理学療法士

Physical therapist



もし今、学生に戻ったら、
やっぱりNHOへ

京都医療センター
K.U (2022年入職)

昔から管理栄養士を目指していましたが、NHOの存在を知ったのは大学の病院実習です。当時、京都府立病院でお世話になった先輩に入職を勧めてもらい、自分でもいろいろ調べました。「急性期と慢性期の病院があり、転職せずにさまざまな病院で経験を積めること」「安定性」などに惹かれて就職し、現在、思い通りの環境で働くことができています。雰囲気も良く、やりがいのある職場です。もし今、私が大学生に戻れたとしたら、やっぱりNHOに入りたいと思います！



今後は自身の研究にも
力を入れていきたい

姫路医療センター
M.H (2022年入職)

僕は山形出身で、大学は新潟。ゼミの先生や大学の先輩から評判を聞き、就活はNHO狙いでスタートしました。地元に近い関東信越グループも視野に入れていましたが近畿グループへ。これまで縁のなかった関西に住み、働ける機会を持てたことはとても良かったです。入職以来、日常業務に追われがちでしたが、今後の中期的な目標として、研究に少しずつ力を入れていきたい。周りの力を借りながら、患者さんのデータを集め、発表をと考えています。



入職1年目から、
NST業務を担当

大阪医療センター
A.T (2023年入職)

私は入職1年目の終わりごろからNST業務に関わらせていただき、チーム医療にやりがいを感じています。これからも勉強を重ねて知識を増やし、患者さんから、他職種から、気軽に頼ってもらえる管理栄養士になりたいです。学生の皆さんに伝えたいのは、アルバイトでも趣味でも勉強でも、とにかく学生時代の今を思い切り楽しんでほしいということ。患者さんとお話する機会が多いので、さまざまな経験がコミュニケーションを広げる上で役立ちます。



臨床業務に加え、
職場環境の改善に尽力

京都医療センター
Y.T (2013年入職)

現場で急性期の入院患者さんの理学療法をしながら、リハビリテーション科の副理学療法士長として、管理業務補佐も担当。科内の理学療法士には、日頃から積極的にコミュニケーションをとって、風通しがよく成長しやすい雰囲気づくりを心がけています。やりがいを感じるのは、部下に働きかけやフォローをした結果、リハビリテーション科が掲げる目標を達成できたとき。さらに組織に貢献できるように精進を重ねます。



後輩を尊重した指導を
心がけています

大阪南医療センター
T.N (2012年入職)

臨床治療の現場で患者さんの理学療法を担当するとともに、主任理学療法士として、後輩たちの指導や管理補助業務にも携わっています。指導時に大切にしているのは、後輩自身の考え方を尊重して、自分で解決策を見つけられるように導くことです。医師や看護師、臨床工学士とともに呼吸ケアをはじめとするチーム医療に関わる機会も多く、他職種とうまく連携して治療成果をあげることができたときには、この仕事をしてよかったと感じます。



患者さんの笑顔に励みに
日々研鑽中

宇多野病院
K.M (2023年入職)

現在の主な担当業務は、神経難病や回復期の患者さんのリハビリ。特にやりがいを感じるのは、以前よりも体が動くようになった患者さんが笑顔を見せる瞬間です。NHOへの就職を決めたのは、グループ内の病院ごとに特色があり、専門性の高い医療を経験できると感じたから。チームで仕事をするときには、若手だからといって遠慮しすぎず、リハビリ専門職として医師や看護師に自分から意見や提案をするようにしています。



作業療法士

Occupational therapist



言語聴覚士

Speech-language-hearing therapist



ジェネラリストとしての
視点も磨いていきたい

神戸医療センター
C.H (2018年入職)

作業療法業務に加え、主任としてリハビリテーション科に所属する作業療法士たちの教育や指導も行っています。後輩との関わりで大切にしているのは、こまめに声をかけることです。また、後輩が学会で発表するときは、私自身が先輩にそうしてもらったように、相談に乗ったり資料の修正点を指摘したりと細やかにサポートしています。得意な分野のスペシャリストとして成長しながら、幅広い疾患にも対応できるジェネラリストとしての側面にも磨きをかけていくのが目標です。



患者さんの前向きな姿から
勇気をもらう日々

宇多野病院
A.K (2023年入職)

主な業務内容は、パーキンソン病やALSといった神経難病の患者さんの作業療法にあたること。作業療法の時間を楽しみに待っている患者さんが多く、私も笑顔で明るく接するようにしています。難病を抱えながらも前向きに練習や作業活動に取り組む患者さんの姿に勇気づけられる毎日です。これまでは業務をこなすだけで精一杯でしたが、今後はリハビリテーション科全体に目を向けて、上司と後輩をつなぐパイプ役を目指したいです。



「できるようになった」
という報告がうれしい

京都医療センター
M.H (2024年入職)

作業療法士の仕事は、入浴や食事など主に日常生活に関わるリハビリ。私は現在、新人作業療法士として、入院患者さんの作業療法に従事しています。当院のような急性期病院の場合、入院中のリハビリが患者さんのその後の生活能力を左右するため、責任は重大です。そんな中、患者さんから「〇〇ができるようになった!」とうれしい報告を聞けることも。今は仕事を覚えるのに必死ですが、困ったときは先輩が必ず助けてくれるので安心して仕事と向き合えます。



新人教育では、実践して
見せることを重視

大阪刀根山医療センター
K.M (2017年入職)

言語聴覚士として神経筋疾患や呼吸器疾患の患者さんを対象とした言語訓練や嚥下訓練を実施するほか、担当する患者さんの割り振りや会議への参加、新人教育といった主任業務も担当しています。教育においては、言葉で伝えるだけでなく、実際にリハビリの現場で実践して見せるようにしています。主任としてのこれからの課題は、当院に所属する言語聴覚士たちの経験やスキルの差を少なくして、リハビリの質を高めていくことです。



「おいしい」「ありがとう」の
言葉が活力に

近畿中央呼吸器センター
K.I (2023年入職)

呼吸器疾患専門の医療機関である当院は、高齢の患者さんが中心。嚥下機能や高次脳機能に不安のある方を対象に評価や訓練を行うのが言語聴覚士の仕事です。この仕事をやってよかったと感じるのは、訓練によって食事ができるようになった患者さんが「おいしい」「ありがとう」と言ってくれるとき。先輩たちは、全てを教えるのではなく自分自身で考えられるように導いてくれるので、成長を実感しながらスキルアップできます。



患者さん一人ひとりに
寄り添ったリハビリを

京都医療センター
T.N (2022年入職)

急性期病院である京都医療センターに入職して3年目。現在の主な業務は、失語症や構音・音声障害、高次脳機能障害、嚥下障害などがある入院患者さんへのリハビリです。今年からは新人の教育担当も業務に加わりました。それぞれに症状や性格、人生の背景が異なる患者さんに寄り添って、ベストな関わり方を探ることが、今の課題であり、やりがいでもあります。幅広い経験を重ね、ゆくゆくは主任になってNHOを支えたいと考えています。



臨床工学技士

Clinical engineer



児童指導員

Child care worker



チーム医療の現場での先輩のフォローに感謝

宇多野病院
S.I (2022年入職)

当院の臨床工学技士は、主に人工呼吸器や透析治療に使う血液浄化装置といった医療機器の操作や管理を担っています。NHOに就職を決めた理由は、近畿グループ内の複数の病院を異動しながらさまざまな経験を積めるから。福利厚生が充実していて、有給休暇を取得しやすいところも魅力でした。チーム医療に慣れないうちは不安もありましたが、経験豊かな先輩が、他職種との連携をフォローしてくれるのが心強かったです。



スキルはもちろん、患者さんとの信頼関係も大切

大阪南医療センター
K.Y (2017年入職)

医療工室室に所属し、人工心肺業務や血液浄化業務、集中治療業務などに携わっています。私たち臨床工学技士にとっては、入院患者さんの場合は退院するまで、外来の患者さんの場合はその日の治療が終わって帰宅されるまでが一つのゴール。患者さんがご自身の足で帰る姿を見るとほっとします。特に透析患者さんとは長いお付き合いになるので、後輩には常々、患者さんとの信頼関係を築くことの大切さを伝えています。



はっきり指摘する分、細やかにフォローします

大阪医療センター
S.M (2001年入職)

長年、臨床工学技士として、現場でさまざまな医療機器を扱ってきましたが、主任になってからは部下の管理や育成が仕事の中心になりました。部下に至らない点があれば、はっきり伝えるのが私の指導スタイル。その分、他の職員に「さっき注意したから話を聞いてあげて」と頼んだり、休憩時間にこちらから声をかけたりと、十分なフォローを心がけています。今後は、グループ全体の臨床工学技士の技術力の向上に貢献していきたいです。



理想とする“いい援助者”の姿を間近に見て

和歌山病院
K.O (2023年入職)

中・高時代の友人が完治しない難病を発症し、「少しでも何か助けられる職業がないか」と考えるようになりました。就職活動で、病気と共に生きていくための援助をする児童指導員の仕事を知り、自分のやりたいことと一致すると思い、選びました。利用者さんだけでなく、支えるご家族も障害受容が大変であるため、利用者の周囲も全て支援できたらと考えています。職場では、先輩から理想とする“いい援助者”としての姿を見せてもらっています。



仕事・プライベート、共に充実させられるのも魅力

兵庫あおの病院
J.W (2021年入職)

もともと児童心理に興味があり、大学で心理学部へ。教授に、「児童指導員に興味があること」「家族を安心させたいので公務員を目指していたこと」などを相談し、NHOを紹介してもらいました。仕事の内容は多岐にわたりますが、自分で考えて行動したことが患者さんの支援につながり、とてもやりがいがあります。また、土日祝が休みで、有給休暇も取りやすいなど、福利厚生がしっかりしている点も魅力です。仕事もプライベートも充実しています。



目や指の動きで、心を捉えられた瞬間が大きな喜び

敦賀医療センター
Y.S (2019年入職)

重症心身障害児(者)の方々へ、福祉的な観点からさまざまな支援を行うのが私たちの仕事。2023年から主任児童指導員として、人材育成にも携わっています。仕事でやりがいを感じるの、やはり利用者の方とのコミュニケーションが取れたとき。話したり、笑顔を見せたりするのが難しい方とも日々の関わりを重ねるうちにその方の「表現」である目の動きや指の動きなどを捉えられるようになり、心のやり取りができた際には大きな喜びを感じます。



保育士

Daycare teacher



少しでも気になるなら、
まず現場見学を

奈良医療センター
M.F (2022年入職)

学生時代、保育士の資格を取るため、幼児教育コースで学んでいました。でも、病院見学中で、利用者さんの笑顔を引き出しておられる先輩の姿を見て、直感的に「ここで働きたい」と思いました。現在は成人の筋ジストロフィーの利用者さんを担当しています。一人ひとりが個性的で魅力的で、その方々と関わる時間そのものがモチベーションにつながっています。学生の皆さん、少しでも気になる現場があれば、ぜひ実際に足を運んでみてください。



一人ひとりの希望を尊重
できる病院保育士

やまと精神医療センター
A.M (2024年入職)

学生のころから大人数に対する保育ではなく、一人ひとりの希望を尊重できるかたちの保育に関わりたくて考えていました。療育活動を行う病院保育士は、利用者さん個人と向き合うことができます。会話による言語コミュニケーションを行う利用者さんは少ないのですが、その方の得意なこと、好きなことを発見できると大きなやりがいを感じます。当院は療育に関する教材が充実しており、妥協せずさまざまな療育に取り組めることも魅力のひとつです。



子育てを終え、
NHOで新たな経験と成長

紫香楽病院
A.I (2012年入職)

私は以前、保育園で勤務しており、子育てを終えてNHOの保育士になりました。それまで障害のある方と接したことはありませんでしたが、初めて利用者さんと関わったときに衝撃が走ったのを覚えています。純粋な心に触れ、小さな表情の変化をみていくうち、「どうしたら、もっと」と常に考えるようになりました。ここは、利用者やご家族、関係職種などたくさんの方の出会いがあり、「ありがとう」の言葉もいただき、幸せな気持ちになる職場です。

Day Off

M.F

奈良医療センター
保育士 (2022年入職)

M.H

姫路医療センター
管理栄養士 (2022年入職)

週末は趣味の吹奏楽でユーフォニアムを演奏しています。年齢問わず約60人が集まり、特に同年代の仲間と過ごすことが多いです。仕事を離れて好きなことに熱中する時間が良い気分転換となり、さまざまな職種や世代の人と交流することで視野が広がります。

大学時代は部活動での筋トレを行っていました。しかし、部活動を引退してからは、就活などに集中しており、そのまま筋トレからは遠ざかっていました。就職後、徐々に身体機能の衰えを自覚したため、筋トレを再開しました。再開してから2年が経ちますが、続けているうちに筋肉量が増え、扱える重量も増えimproveしている毎日です!



#サッカー



#ユーフォニアム



#筋トレ



#バドミントン

先輩たちの Off

S.I

宇多野病院
臨床工学技士 (2022年入職)

趣味はサッカーです。その趣味を活かして、友人たちとチームを創設し、みんなが楽しめるよう運営、試合計画を行っています。これらの活動を活かして、病院でのチーム医療における多職種連携、マネジメントを行い、患者さんに安全で最適な医療を提供できるよう、日々の業務に活かしています。

J.W

兵庫あおの病院
児童指導員 (2021年入職)

オフの日には、知り合いやサークルのメンバーとバドミントンを楽しんでいます。幅広い年齢層が参加し、共通の趣味やスポーツ中の声かけを通じて自然と会話が生まれ、新たな視点や情報を得る機会にもなっています。定期的なプレーは、体力維持やリフレッシュにもつながり、充実した時間を過ごせています。

Skill Up

スキルアップ研修

臨床検査技師

毎年研修会を開催し、多くの職員が認定資格試験に合格しています。また、青年共同宿泊研修、主任研修、管理監督者研修、医療安全研修、チーム医療研修などのプログラムを通して、医療人・社会人としての徳やリーダーシップ・フロワーシップの向上を図っています。

リハビリ部門

各施設や職種単位で外部の講師も招いた研修会を頻繁に開いています。国立病院機構は施設ごとに高い専門性を備えているため、施設の枠を越えて参加できる環境を整え、さまざまな研修が受けられるよう配慮されています。

療育部門

国立病院機構近畿グループ主催の経験年数別（新採用・中堅・職場長）での研修会や、各病院で各職種の専門性向上に特化した研修会、近い経験年数同士の会合等を実施することで、専門性の高い福祉制度に基づくマネジメント能力・療育技術等の獲得を目指しています。

国立病院機構では、さらなる事業の発展と医療への貢献をめざしてメディカルスタッフの方々に参加いただけるさまざまな研修や活動を開催しています。

診療放射線技師

技術の“均てん化”を図るため、放射線治療・CT検査・マンモグラフィ・救急災害・医療情報などのワーキンググループを立ち上げ、260名以上いる技師の経験値に即した研修を行っています。認定・資格取得に必要な機構公認のポイントが付くことも多く、研修の大きなモチベーションになっています。

管理栄養士

毎年、新採用者研修やNST専門療法士の取得に向けて、臨床栄養学に関する優れた知識と技能の取得を目指した研修を行っており、施設における栄養療法のプロフェッショナルとなる人材の育成に力を入れています。また、それ以外にも様々な研修に参加できる環境を整えています。

臨床工学技士

新採用研修では、配置施設に合ったプログラムで接客やコミュニケーションスキル、業務紹介などを受け、臨床工学技士としての幅広い業務を経験し、早期の技術習得を図ります。

中堅者研修でスキルアップ!

成長とやりがいのある職場づくりを

Y.T | 京都医療センター
副理学療法士長（2013年入職）

中堅者研修では、求められる能力を学び、自身の強み、弱みを分析します。さらに、リハビリテーション科の問題点を抽出し、具体的な改善策を考えるワークを実施しました。その結果、個人ではなく組織の一員として考え、周囲と協力する重要性を認識することができました。現在は、組織として上長、他部署とも相談しながら持続的な業務を意識、遂行しています。今後は、後輩指導において相手の意見を尊重しつつ、組織全体の成長とやりがいのある職場づくりに努めていきたいです。



Education

教育・研修

国立病院機構主要研修一覧

	機構本部主催研修	グループ主催研修
一般研修	<ul style="list-style-type: none">● 評価者研修● 労務管理研修● 個人情報保護研修	<ul style="list-style-type: none">● 新人研修● 青年共同宿泊研修
専門研修	<ul style="list-style-type: none">● HIV感染症研修● 災害医療従事者研修● EBMに関する研修● 臨床研究のデザインと進め方に関する研修● 治験及び臨床研究倫理審査委員会に関する研修● 初級者臨床研究コーディネーター養成研修	<ul style="list-style-type: none">● 医療安全対策研修● 院内感染対策研修● 治験研修● インフォームドコンセント研修● チーム医療推進研修(NST・がん化学療法)● 災害医療研修● 薬剤師実習技能研修

Welfare

福利厚生

充実の育児関係制度

育児支援制度

仕事と育児を両立しながらキャリア形成ができる様々な制度があります

休業休暇制度

育児休業 子が3歳になるまで子を養育するための休業
育児短時間休業 小学校入学前の子を養育するための短時間勤務
育児時間 小学校入学前の子を養育するために一部勤務しない制度(2時間/1日)
配偶者が出産する場合の休暇
育児参加のための休暇

院内保育所

近畿グループ20病院中、14病院で院内保育所を設置
夜間保育、病児保育に対応する保育所もあり

Hospital Tour

病院見学

近畿グループ内の各病院では、それぞれの病院の雰囲気をより深く知っていただくため、随時見学を受け付けております。実際に働く職員の話聞くことも可能ですので、お気軽にお越しください。

見学の予約方法

直接、病院の各部門へご連絡ください。

※病院の状況により、ご希望の日に見学いただけない場合がありますので、ご了承ください。

